

# 平成 28（2016）年度 事業計画書

自 平成 28（2016）年 4月 1日  
至 平成 29（2017）年 3月 31日

公益財団法人 九州盲導犬協会

平成 28 年度 事業計画書  
(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

《 公益事業部門 》

- I. 盲導犬育成、貸与及び視覚障がい者の生活訓練等を行う総合訓練センターの運営事業
1. 視覚障がい者に対する盲導犬の貸与と生活訓練等の実施
    - (1) 視覚障がい者に対する歩行指導及び盲導犬貸与  
今年度の盲導犬育成目標を6～8頭とし、視覚障がい者へ盲導犬を貸与する。
    - (2) 公正な盲導犬貸与  
盲導犬貸与規程に基づく公正な盲導犬貸与を実施する。
    - (3) 盲導犬ユーザーに対するフォローアップ  
盲導犬ユーザーが安全・安心な歩行ができるよう適切な指導を行い、ユーザーの生活をサポートする。
  2. 犬の飼育および訓練
    - (1) 繁殖  
計画的な繁殖・出産により子犬を確保する。また AGBN (Asia Guide Dogs Breeding Network) 加盟協会との繁殖協力の維持と発展に努める。
    - (2) パピーウォーキング  
飼育講習会及び巡回指導等を通して、子犬の健康管理とパピーウォーカーに対する飼育指導を実施する。
    - (3) 候補犬の訓練  
犬の稟性・健康評価ならびに訓練評価を行い、候補犬訓練を実施する。
    - (4) 盲導犬の健康管理  
フォローアップなどを通して盲導犬の健康状態の把握に努め、健康を維持するための指導ならびに助言を行う。
    - (5) 繁殖犬・リタイア犬等のケア  
飼育ボランティアおよび獣医師と連携しながら、それぞれの犬の健康管理に努める。
    - (6) 犬舎管理  
犬舎担当職員・訓練士が連携して、犬舎の衛生管理および訓練犬の健康管理を徹底する。
  3. 盲導犬訓練技術の向上
    - (1) 毎日の業務を通して職員の訓練技術及び指導技術の向上をはかる。
    - (2) 平成28年5月にクロアチアで開催される国際盲導犬連盟のセミナー及び各種研修会に職員を派遣し、自己研鑽を奨励する。
  4. 関係団体への協力  
日本盲人社会福祉施設協議会、全国盲導犬施設連合会、九州盲導犬友の会、県市社会福祉協議会等関係団体が行う福祉事業に協力する。

## Ⅱ. 盲導犬を主体とした身体障害者補助犬の普及及び啓発事業

### 1. 視覚障がい者に対する普及啓発活動

視覚障がい者個人及び団体等に対して、盲導犬の必要性について講演会並びに盲導犬の体験歩行会等を実施して、盲導犬の普及に努める。

### 2. 盲導犬普及啓発街頭活動

RKB ラジオまつり・糸島市民まつり、各地区の国際ライオンズクラブ及び地域の団体等が主催する普及啓発イベントに積極的に参加し、盲導犬を中心とした補助犬の受入れに対する理解を深める。

### 3. 実演・講演・体験歩行会の実施

行政及びボランティアの協力を得て、小中学校における盲導犬総合学習に講師を派遣し、講演、実演、体験歩行会等を実施、盲導犬と視覚障がいの正しい情報・知識を提供する。

### 4. 一般市民への啓発活動

総合訓練センターにおいて、一般見学会を毎月1回行う（12月は除く）ほか団体見学を積極的に受け入れ、一般市民に対する盲導犬並びに身体障害者補助犬法についての啓発活動を実施する。

### 5. ホームページ及び協会報による広報活動

ホームページや協会報「ハーネス九州（福岡県共同募金会からの配分金をもとに、年2回発行）」等を通して補助犬に関する情報を発信する。

### 6. 相談業務

相談担当職員を中心に行政・関連団体と連携を取りながら、盲導犬使用者・ボランティア・一般市民からの苦情や相談に迅速に対応する。

## 《 管理部門 》

健全で安定した事業運営を目指し、普及啓発事業と連携して、次のとおり財政基盤の増強を図る。

### 1. 賛助会員の加入促進

個人賛助会員・マンスリー会員・法人賛助会員への新規加入の働きかけを行うとともに、会員に協会報等を通して協会事業への理解と継続的な支援をお願いする。

### 2. 募金箱・盲導犬自販機の設置促進

新たな設置先の開拓を行うとともに、既設置先へ継続的な支援協力をお願いする。

### 3. ローコスト経営

コスト意識を職員一人一人に徹底し、無駄な経費の削減に努める。